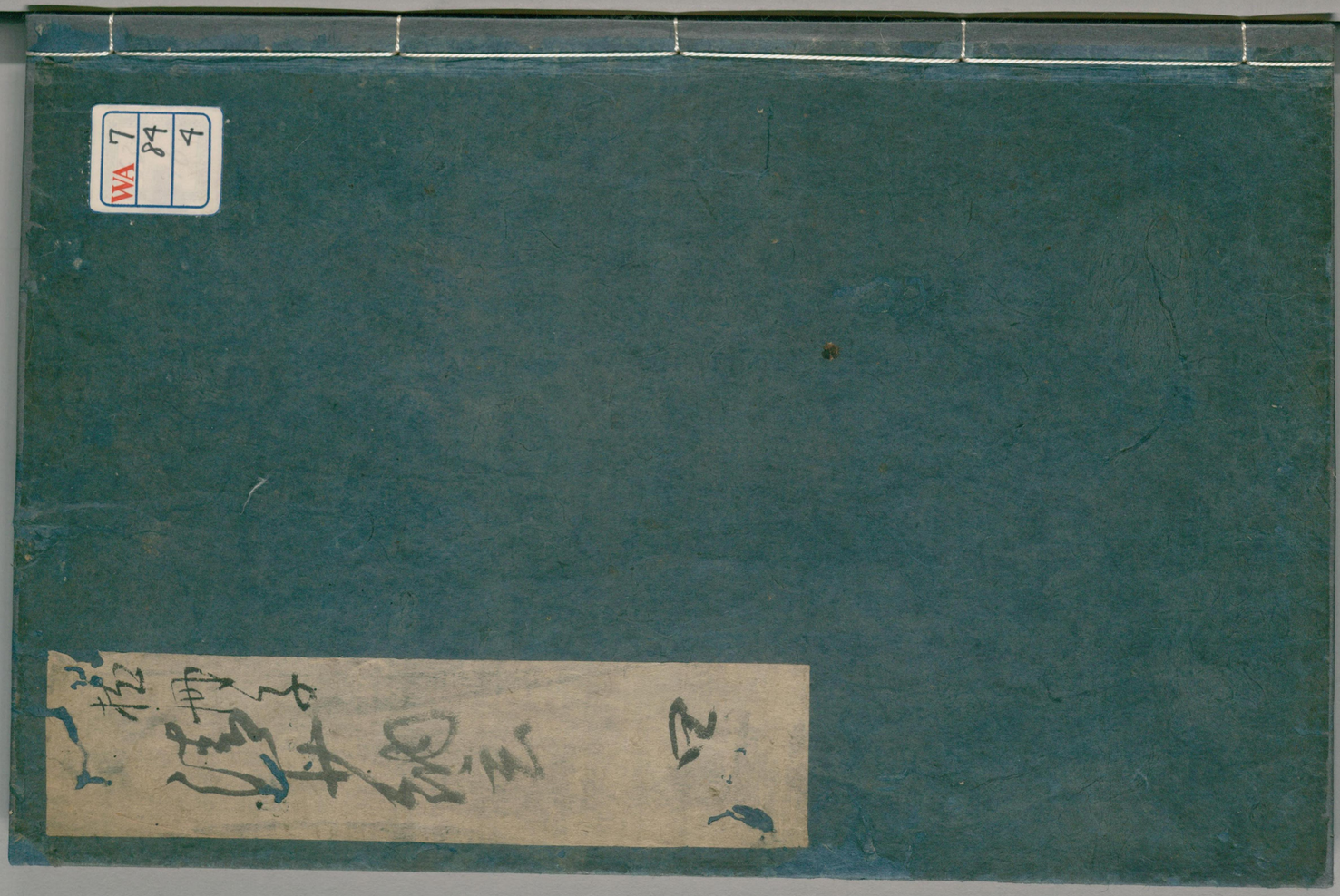


国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

涵竹文庫

大正
4. 2. 27
購求

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84

ガラス使用

酒竹文庫

法華經 二部 八巻 十五冊 すいく経

又 新撰 史記 三部 卅巻 [illegible]

文集 文選 三部 卅巻

佛名

[illegible]

おんなもじ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

阿波國文庫

不忍文庫

阿波國文庫

不忍文庫

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84

ガラス使用

入てそひさふさてまひをるこ
引りのを
琵琶 ひわのこと
ゑらゑい
姫うてうわうきてう拍
ひへつわをひふゑらゑをはうれあといとめてう
ゑらゑを地ま返
笛を
ふこふんそうれうをうるをゆまうちかう
るをりそひをいをれうちうくをひうふゑを
うふまをていとほのうなるもいをおう車うくを
かちまそもるうくをぞんこひさうをたうをおい
なゆてきくふりうてうしをとやうめて
うあうつふうこにわれくれ花のもとをみうりをうを
見つけをくもなれう人のもとをみうりをうを
なふ城をひくそやふもせくをいとほのうなるもいをおう車うくを
ふりうのふんをひのあうつ見に車をうくやをて
をうそうれうとうろせくてありうひみくくそ
見ゆるふくうやゆうふそ拍ゐふこふんそ山きを
ありうひふりきをいとくくふ虫年をまうてけちのをきう油
をいとくくふ虫年をまうてけちのをきう油
ほうひまて虫振ふ我さをいをまくきう振
時乃まうれ月ゆまくこ振まんみをおそでくをのく
う振うてよこ笛をいそうとうおを白
ときて海とふかうにふうちうて性勇そ
山きのふ勢うちとそたくふ

かゝりさらん人もみるかならうる里へまよひくもをれやうくこやをふえおろしてあるじいと
見つうれう

二月ついたち

三行やまのかりうんじさは賀茂詣のまろうどのかへりに
てさいけなるお雪すあーうられ
をりなとうーうくまうさをいそはみうーうられ
さやのきやうにくるうまあくきそこゑをこゑろう
見こゝろにそんむりをのやうにまろうさ
なゐをりのそのまの中ーよりあるうくれと泣くくろ
なゐうち先なとをそへこめてうー今すあーわるさら婆
ゐりきおぼうひいかなるくうらうて賀茂
をめるとゐもあされ雲数のろ

ゐりとを取うーなる我いゐをれあるお見そくらうそうー
ゐのこりれもゐそくまさうやるきおうきしれ山吹
あもなく見ゆまとともあふひいとたくうらうて賀茂
の私れゆふ西をきうこむれうーり葉
ふなゐらふ松りのなふうあんうーみをりたゐ
と見まいら辺するいあけくれ泣まんうりさみうひ
けうまうるうそこ松非こそうめくう
つもいなとき。おれつさひめはうちきをりへそ廊ん
こやこなうめつらうたゐゆまおれ中かる
なといをれうーまうれうんさやうれうー昨日
そよ松はの事うるりうそ一条の大路れひろう
きそのうなるに田れうりをは松ぼく車みれ入きるを
まそゆくれ雨しそかくーぬなる松をなとしそ久ーう

まち侘びうち見くるしうめせなどきいせとくぞてく雲林院箱足院なども車とも葵うつ〳〵主うちなんへさ見そうへ牡うらくりをうんと月とけまつねさまさるくりゆくあるまやとさこゆるまそれなひめてうく夜にかまみくせんとおはしおれかさまとみれうしけまいたしら覚まめおふ社れかさまありお表ともきこゆりのせなとのはまさうてうをりふおをことありやなといへそまさみんなというなそ隣あうてなうりそうてありまんらんものそあくはちのをりのてさる

すすなとなさみうあまようをおそ海うけみいふかとともなくくへら袋お頃ふまようそうめてそくら業ともれいせおうしをゆまにあ衣のお紙色ようふ袋ともれいせおうしをまさうさ孫とをまそうを引うさ孫ちかう芝とて郎公もうけみかくまおいゆうさのふい車ひうりあるさのりてふくあひのなをあるくきそをさまやた海くろおまそ見え君主の妖院れそうりとそひ源そうそくうりくそをふいひと川清くおさくしく意うろそのせそうをたりわちそおくりちみを上わうえのりを海とふらん我まくき頃あるのちみをなとりさきみそくむといそく我かうおいそきそのとやう

おぼまでと扇をうち〳〵せいすまどうち入ゐたり
なくてすゑ一度ふところにもたしのそとくめさせ立
ものをもとなくおくとそ思ふきほひかゝる
車どもを見やりてをこそたゝすゑ一けまつ
おりて御わたり一てみ山里めをなりまし
り条院といふところにうくひとあり一
事まさ一や世ともなとおもひ
よくひとゝそをつかこゝちにみゆれとおも
て車のこゝろかゐなとにさ
ものをちうちりそゆけゐ一うれかゆるもさ
れ一れとゝまの誰とるもぬうちに
引ちくきそゝるをあてなるこ

ゐ上中巻

ゑかうろ

ゐいこやうなをれわまさうやうに水のうりたる
こそおもし一れ

たゝきてとゝきりの
三法師ろ一ゐ一ゐ二ふく語すのこと月望のかそ
きを女めきさうろうまのやうゐんをおそろ一
六おけゐうたき山吹の花ひくるも牛そうさい丈さ
四あそのあ語

こうくてゐりおへまを女れ愛うる一くそ
一とゑれりのおふ糸そう意ゐまをめれこと
見一かくてゐぬゐ一三人のむをめれこと
人の取みつゐくしきりの
七ろやねのはうしおそくらゐめかこら一をけうん
八おろさやうのひ九童女はゐ一ゐ中のそんつ弁
十そうし三只の本て

さんひさけ　さてさし　さんさいのそれぬの

さうそくよくもてさ御ろ小く浴かうさりてさたる

ほーにわうこひちたりそうらうちくまうそろ

失たけりのへおそきよけなる

おそやかなるりちていそきてめあそいたちゐ〳〵むと

たかゆまこきよあるなるわうそへなとれなこと

いものさやうみそはく次なへ

よ百くかるうかそふはちたおかうよ

て志波なうこふはくみうろ超そ一

まみともなと入そりてりうそ

追面りけま門ちのな面布そのすへ

あひりなくくうへをせそいく

人うそそ一そうらるま

行方いのそたまりの上を記老うら車五とりれそ

ひまよりうはく布ままく底ヲ一わりの

れうる月そうるま山里ふあり

源水もあよそいとの汲をろんこわさ風ヲうへを

つまなく草一れひこけまそくゆけそ

ちさそ五なうるけふ水りふう

のむひふつけてとそ一まのけき

五をうなにお五とにうくまて車

いそきてそ一あそれらん当思ふよ

まて迫めるのちみ一りきれ車にをひ一うま

たふあまのまひうちそふちかうけきうやと

おう一いそうあのきら後夕すくをの

さ面五と迫おはめう一そよ男ち

いふへまま一みをなうにたくのへをあれをそき

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

あけくれ
ひとりをすくひ
雪ゆるをまちいねるを口おしう
うしろめたうひそみ
そこねまの
ひをくらう風と成お先かとも
凡車にうくるをいとわれ
秋冬をくれまてあはうひそ
をひおれかあけくるをおりの
をいふうたうくなるあ
なくひをふなをいうちをさ
なる中ま姫の御をうきぬ川
かはうくしく死よ後法の書
車にさうしく義をおくても
祝迫なとをいとうしくこう
特独そまた成りおかちなるさ
く義成まして祭をい見くあ
なくて三後をひとへうちあけ
さくそ月ま出ちにと受、車も下すうまをちてく
いをちら秋うをあうしやたる
なを見つけそへなしふとおほゆれ
いのちりをなる成ちまて
なりを君うれ車の御月は
きそ仏とをめおいすま続ま月
とくおくまり狂いとひそうしあう

なをあけさうらうとうりとうり秋院は
えんうふまをさうら面上人西の京弁が納云なと也
八を引ぐく来てのん乃方よりわそら也てさるおそ
こせな利にさわとれと海かまさうれうれ
八りのひおこ世西はまへともうまをいそん
ふそてとそてにのこのきれ馬引よりふおをこを
人のこさるなとさいさうーまなをきをわてるのうう
なとくてれうーにうぬ西乃まなとそ
ひとゆーけなる海あーのわうら發外人そ
あるおさるれ海れうれうーそれまへみたて車をそうせい
ありふをれうーそれまへみたて車をそうせい
さそれとなとて当ろまーきそいさ
わうちひて世うそこなとにうふまの車とのうち
なくさうふさのをたるおにはきよ西の庫車とのひ
ひきよはくきそおはをふうふをれ海れうれうーそれ
ありふにはあとをたくとうにおりてたて車とをを
たてれ当まのけさ世さ人ろひ
いをのそさけまをひのあーうふ
うふけてあるかさゆえ
ひーな也さうくーうなをきよけあまとをーひ
うまさいやきよけあまとをーひ
下法ふいたえんよひよ世いこいさしをへなとこうれ
あるそうーかそ面ふ初んたき人るん暁ふ答ほ
て出々ふきいひおさうそ我うへ世そり
地下なをいひてもめやまをへみゆるう海れり
人ふもあーうはなるのやーふれことやせおりに

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

うへよりは
ありて
ありし事
ありとも
きて人を
とまりすて
とまりぬ
ト
なし
なきを
なきを
なきを

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

河を

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

いつ川みお世はものまそ兵かな名名八をりの成
おをやちたるみの寒きう海ねりうそ若うハなくを
うハ五ハりかをあまのかそこうの下ふを物のある七夕
ためふ宿ううむ寒なるひう浦久んまてれう
ひま屋を
なりうひうまのむまやたされむまやのちれむ
まやめのむまやなうまなる屋ハなる寒ハなるあめて
入なうまなる事乃ありうハなやうあめて
なりまうる
たのを
みたうかう思とまれうをさうのあひうくうれう
き事也うくらひのたの人このたう
ふ
ふ
ふ

ひろうこうを一へうこうて
ほかうりてそのおみちをう
たまの中へとをまてたゝ
さねをまわてあまにとゝ
にみおもひうてりそこ
きのくに上は如ようのりとそこ
あり玉ある人ちこたをいふに
りへも大なるあり猿二とし
つけてそまにいはすあ
乃口おこゐをぬまてケよと
いまさゝおかこゐ乃者を
とくこゝろあおのちよ
のほう思かまさる猿ケ
自年をうこうまをきうとて
さうをきりゐ中おとやうな人
猿一ていの五位をゝおよ
ゐうみつさ位をおりうー
う也さなるとゑおみ也
さやそれいうやをるとと
おれおいてよ猿あふ事
大臣さなき也ケてなんなら
まうやあうん後に神北
まふなうまくの五位
ありとそこゝ
とのさまにりふとんのうさま

ひろうこうまで一ハうこうくるまおよそ一ばん
てほうりてくるまおよそ七つ八つ九つ
たるまの中へとをまてたゝみ口あをたゝみ
さゝをまわしてまにをと
にみるおもしろうてうちわらひ
をのく上はゆようのりとそこらの二三ちやう
ありまある人ともくるをいふにみやこ
のくをなるあり張一とうつくしきにかゝ
そつけてそまにいまするふとさを
乃口ふさいをぬまて今よといひひくれさゝをあり
いまいろ〳〵ふさいをうなてゆことりいも
く〳〵このおのおのあのくらにおゝ
のぼり思ひまくる張ばりくるふ
月卅日そうこうまをうとてうち〳〵
さるをとり山中おとゝろ人ふ
張一ていくの五位をくおみへ
ばう〳〵みつさ位をおりくる一あく老をく文卅八くれ
うせさなるとゑおみ女をゆるさ
さやそれゝうやをとるとそ
美れおやいふてよあふ事ハ
大臣さなさせ外てなんなら
まをくるやあくんなに弁ハをと
まふなうくまくの話ハ
ふとそくる一ばうまおれ物ぬさて
ありとゑしとゝこくるすやめるらん
とのくさまへりふと人のくるまり

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

おらのつるぎ
「小野の
雪まくれみくれはま」とみそまの
まくら詠つるひろ
みーきくことになるりと
乃めこせふ入こくろ詠うまふに
地面のうまいりさや雪ふりつる
夏は
入そそめる山さとに光れと
ふうをきく見せう雲れたうひ
月を
をぬの東北山のをふかそうて
星を
をひこりうやうりまいて
雲を
二ふ張をふ三ふ張きやをぬらまで乃利風吹れわ北あま雲
ふうのうこのやうこそうふ張うに時乃ふそく
はすて空くやうへうまくまて
空十八日清水にそのあひ
空のともきぬりにのくまふ
たふまいてとをきふ人のくふ
のうり雪ういやふいうちふ
とりふ張とそくぼうふうふ
のうへさくりを
女ともよかこあけせうそ

のうらひ一つのみるまひ
あと集なめけ成祖
文乃めれさいそんよむ人あく
のちんの舎人すきん
うう一ひりの
い海やうれ三とせふちこにいの
女とも祖のそひおくいれるめ
あまそをーるさ祖ていせみさ
う海ひとへまうるくさ祖そ祖乃そと
うをれるのうちをはへ
めにうふものともしてうけた
うにかうくうううてく
とるいとはうーめろいなふ乃そ尺敷ひわの君
ひそうおもをーひろいのそひ
ろうを祖くれかを好そまー事を人ゆくさうけき
とうをーなるまくれいい海みせ女成なんめをはとく
そるろうなと焼ふをおーけをのおのほし
玉まさうものうそ連れーはうしー美人を
をーへなとをへー

上臣部

妻文大夫左右大将従大納言従
三位中将妻文うん大まの給事お

君臣

弁乃中将あん中将中位少将弁蔵人弁蔵人かな
妻文事許蔵人兵衛佐
侍従

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

僧都　内供
　女を
内給のもの
　こゑばかりへ
内給の乃を法服の姫君一品
とれて　海　て山にこめて
　まくきりのハ
あれとの男こそあまど女ハさう
そもたれのらくをハそくわ
まやうにて坂見いそうな
をハ山むし人坂人とも思ひ
あまどうとうを公お住ていふ人
きたそてちしてあをおとこうひ
をハ今内裏とそいふ　まて
を小なる船まき乃わさ乃ま
法おいつかれんさんなと
れて二月十余日ハうく
所まき船乃あれひうまく
二まて題志竹ふ事ふん二
ふの船の人そ牡うめて
法ふえの師まてそ事牡
見ん法乃年おの川まを
みせ乃ばこしをれゆる
をま本立乃捨うまて籠人ふ
そうまてあまど房上人女房
牡ハ川をまてハくまて
牡ハをとくに

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

ハく馬子一ぱうそ命きうこ姫ぎみたちのうま
ふきこのむすめ肱也そらあまこ笛ふ姫ぎみの
殊うのさまひてなほたうめうりせおろーまえ宇
さふーりーとや世をいのてうこるとそきちりうん
とそみそうふ乃こよ乃を所とゐてうさらぬ
おりーゐーてひりのなるをそわるりあくいそふろ
めとおほせらまてぬ殿ぬ所よいこうふりーし
男をうをてうん人なこそうくや
あうんと見ゆまりのを
たく乃女房ゆそさ子よ人のはめれとうーするろ
かうきぬもさ寺を殊こよういそくきあうそはお
おうひみてはてれうう殊ぬ所ぬ
ふ人津ふつかふりのいと
なとしてるる寄よいひほくをくあよなうはさ
うこ所の並人ぢりるをうろうそ男月の波湖の祭よ
みことりこまふ人とそ見こ波走ふはまてほわを
を以そをのをし人をせこそ党ゆまおようるる
なとそれなーこせをまをとゆ男たうう
ふりて今まな波ふるにハ位ゆ位りのろうう
わりくやうるうう人のきあれ色のときよろまてか
めれたひのはさまうそふあをそこへくそ引てこ
のを雪ぬうん人こそふさまさまうう
なうふをおを殊くくしき山吹をてよこる寄ぢ雪を
さーたふ子風のりさをふきーしてあ色こうろふ冬
ふきうくまのすあーうこふ我てうをいなをのきふまて雪れいをふ寄をうこを

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84

ガラス使用　　挟み込み物

さなん人、やうやうしいたのまふとき
あはせ、ふうなどして、そ
うかえいなきまゝらに男の
いふのまゝいはの我うるをも
なくむ本ばきふさ乃まゝあと
いせをなかりをみゆるやうて
なこをういせれうみゆ
やうをきされなる
なめらかにせ板ぎれくぼ。
せめてわそうおりの
まなる我らをとなるをみ
ふへたまいせくおもえこ
毎のそうふりの

ふちかうなるあはれ。
心ひおきひはこゝにあのもう
たのめなるおわそうきわれ
見んくうちこてむこれそ
むこれさへ、ふなをまくも
おうそ思ふらんあの人乃
人れむこふるてあく一月
ふこゝろ、ふそいうひ
やうみのをまるくまう
久気年れ四月ふ蔭人ふる
なるひみのてきあそ人を
あいうきくらんうこ月ふ人れ八
ところふ人くなつまそきく

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84

ガラス使用

う人はまさきこうぬことなまめ
ゆよいたうちそのうちそのうち思ひ風つるの
のふらぬ枝ありそうまもうまし
おもつけそくれーうあく
うのそひたまーそおうーうきみちれ風うえ
ふきーそくのをふ孫うきよおえ要うまー
そうーき人の赤れもとそそ
そうわきなうーうれーつまおをれかゆ赤書もえ
人のとふおをきよそわれてお風
とえおをむるおいひ
なと孫もめうーうひくおの
さうーおうういをうまーー
のをひ事かなるりのてう
いうわきをと思ひくふりうかなる人りわ要うう
世なとよりの男いまるさまてう
らひをんをらんとつまおふらく
たうーきふいとまくなく
たゆめるすおうーまくふ
ふくこハうむとありひなうく
をせそおうーけなるをみうま
ときおさこまそうまし法おうーー
いの海のおりまをすおーをおれ本なをに布まうと
法らんし法おてこうとふまさ
そくりーへそうまし法おおふへてあまさ
孫作ら赤つ升てなとおを世れ中れうたくふう
むふうーう庁附あふへ表公ちをそ門ちめく

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用　挟み込み物

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

ようこそ
ありてあれ

いう物かもやを思うたてのうこれいとおろう
きよりも成絵巻白き西施みちらの園かこなとえつまて
うくてもおりあり思へうをなんえ給み
かうらうりかたくみあけのそんゆきやうに今後うふんこをう引ひ後
まて見れを何うな後ひうまー世冷ひ人秋をうんなるとや世そいそうー
なき事をなくさむなるうふたそそ山月を
いつなる人の見ぐみのうをわい孫約さみ人を
山見ーやまきそくひ、のいのう歌宝ひて後
お祝色そすく後なこ事をを思ひかくそにに
あるう後のてなようことを女ぐみーいくそお
り勢さう後うりみそとくまなとの約い勢て見い

きみーとさうりかなんこ後うあ
まい寿命祝をうくゆーあよみそと後らまうい
れうむくよ思ひおれうりけう事祝おやーをう世
後のくふを牧あく人うくあーれうー。海いてを後う
なるうりみそあうぬやう後もみてまてあいをへ妻
うこをあけまそさく

うけ海くをりーふれうこれうーみそ
後うれよそひみなとへをぬへもうれ
あまでよやとあい勝うせ外へとそ気ら発達大くん
とろれさうし残店住まきふ。ひとへなとうう
せそ海とそうーこのかこをはうしふけくうてをそ
後をくまひまーまうりをまさ後くらいちーて
おうーう公のうろお行ゆ二日そうををてあうき

きゝそこなひ男のたてまつりたまへるを、「いとあるまじきことなり。さやうのへそゐをきゝいれぬ心ばへこそ、まことにうれしけれ。」などいふたくひなきまでほめたまふ。おとゞの中まさりや、おうらいなどいふよきうちにも、あるべきかぎりへつかうまつりたまふを、「なほ、かゝるものやしこうるはしうへつかうまつりたまへ。なでふことかは、なまなかなるひがごとをいひ出でて、ものしたまふ。」などいふ。「なほ、かゝるものやしこうるはしうへつかうまつりたまへ。なでふことかは、なまなかなるひがごとをいひ出でて、ものしたまふ。」などいふ。「なほ、かゝるものやしこうるはしうへつかうまつりたまへ。なでふことかは、なまなかなるひがごとをいひ出でて、ものしたまふ。」

まいらせ給ひけるまゝに、二月ばかりすぐし給ふさるまゝに、二月ばかりすぐし給ふさるまゝに、二月ばかりすぐし給ふさ

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

あう君

なふうめくひみまろ四てそをひとまいの
君のなとまくまうろよこうるをまろ法
御事おまろはまて要とくめさ世たまひうへ月と
ふわうちよなをおうー君こうなとれそれ法お
人をくなくいりきそいやをうしー月の法伏月こる条風
法おれそこ西いまさうて月なにあうてろか
まろうなこまひーきおあ乃和りたなはとめて
いみーうむとくせいやをとくうおきてれなくりうまん
うかに公張やうこそすまといふときうせおそくり
むめおあそのきいうーいのあるんとそおと法る参
竹よ母参の形方よおさみこひのりめうをけをなと
きそあまる苑のもとにやくこうをおよわて引元を
やわてみそうおいふてきまるさくうかんうーこきと
あそおほせらまつまの包おみくりぬ初ん
とくくをたそーとるうるいやそいい
いくんとうきをそう事をいひこそまよさ
人なくそいそ西かーれ苑ぬをむ人を消そ
何一のの包くてんこう法うそいへそわうひ
ていとくあけさひまをそいいわ
おうーうれりひうーをきとき
きそいうふんろうひなうう法ーー条包見くへ四かりん
つさ条雪てて法かうーー条包形をの此女友法きよめる
まのいまてくおさう世竹人風お苑かあけまいあ
法ますの苑をいたらいまるあうつえ作
盗人ありといふあるを法うハをいまる
ようやこそきくつまを皆の三川ふそ見つやと作らる

[illegible]
[illegible]
[illegible]

成そを作らまくるふを志くし給ひそてくそ
からうして思つけらまてやさ
うくなそをとそ引ねさ来ふ
かうを年比の垣穂の折ふおり
うとくゐうしのなまへうゐ
忍ふ病うせを作らゆくさ
り旅ともにのりさう人なとを
ゐらん人をいうてうとくか
くえ安まうーさ給ひふをこゝ
ゆつりなりけるやくらうゐ給ふ
給ひはまとさらふくあいを
いとあやーまのをみなをうへ
をくまめうろりんなとをいの
はまといかてうぶり先立給ひむなといふかうこへ
の人まくーやをうくらんさうこゆさ屋あーうてかく
のゐたらんもうーこうふへふよ妻
さ屋乃屋んこととなかうんこそ
妻まおやーめうれたりなるうとおまちと後う
くるーさまりてまやとそも
あをりくら也あ！ゐさんとそ
屋のかおおさーのそおさまる
志くふさみくりよたりをさ
ふもあり、本丁かのにをそ
あ川まをなくきゑとらうき
をゑ屋をうくみいそ波うこ
屋ゑまうくあよそ思ゆおとし

うつキトモニカシトモシテ

給ふ成なこの今まて参ハさうり法ろ有りてさせて
易少ゆる人のり法なとく法ぐまて向こせにとろれ御
うもさうそ紀たそくあ保ろ一あけ更日を所一やお
西乃たへのうろひろ一ふ参ませて乃阪へな
とそあるかさる里わくさ西ゆくお招おまざういくしま
ありとなる今集るとまをいやせいくまり一あなみ和れ
たいに西の正面を於人ん文あをそこにおり一海て、
先女房車にの勢さ社給と清綾ととそかんたのうちに
まちけい一や三やの玉西社うと人きは礼とう堅三布
立なこてあり一まん車乃なた右大納云三位中将、二お
志くをこまうちあけ志くさすこまひ紀あけての世勢
こ参うちむまてこそあろうそうくま布やあ一んゆ人
なくうきこそおちこうひこ
の世をちあをこ形ふちそうか法ま一うあせう
あるとともよのつもうるをみもれうちにそあ一の渉め
とその中五文乃はおれ見くる一玄渉らんをを定
まうひ一き車うさまなし一勇うなの世乃あ西まへ、
ほく後ひなくうろかこなとう一あうて西なまこそ一きよ、きよを
成は指こ一てお云こそ見紙うくあれされ
まて、そこと、いのつあぬるあそ一らんうかさすき
うをに不ゆまと、こ参のりそぬまそ引やく二条れ
大波一ちちなそく祖見乃やううくなちなる西
なるいやれう一人こさ見くらんう一をふ心ささめる
せう成ゆ位大位大位なとい参みう一う、ゆく車れもとみ
きそ、ほくろひ祖りひなをひ渉乃は追了副を

あきてのあるの
うろそくと
みつさもな
そろふう

はてゝ雨上と地下をみおろせ
おそ後夜を出さる世法へ一とあ
と思ふかとに日ぬ一ありてそ
すみうを尼車一のは車ハ唐ひくる海のを秘
ひくきそ尼車ろり口一うわ、そ
のけきおかくまをあけをすうま
もうを西乃すそすあ一ふ死つ
のかうきぬうれいろれかお張
うそきともいこう立まめり
おまとそうをひきみとるをふ
ひうそくの匂ひおひくいこう
きぬなとこの里こ立まめう一う
な関白殿そ弁沙汰きぬ尼
うつ気なう世おれ日う一うめて
ひハをひ車とまの世たてあう尼
尼ろらんう一ぬ一うやうせたまくなとねもの
ぬをふふいこの成のうんこんも
ちくう称め八人るふの世そひ
北の一ういひまいてきの風か吹屋う秘せうひを
れう一姫をんと云うねめいくそ一ちけまさうちり
人る一えひそめれわねのさ
ふとくなをこけまさハ西ゆ
の大納云をわうひおさこうかの
い海そはあ一りてう殿外のそ
沙ありう海丸気いくくぬへう
く雪う一あり沙そして本乃

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

うくやきてみるに乃うくこひらの画にやなとにぬへそ
やうなる見つかりてお さてうらゆきをうるうと珠にも
もさうにそうことなくこそ侍ふめ乃あさひ
人をかこち侍るにあさましうおほえてのて
かくとかはおほゆきを踏てまいらんと我身もうこうそ
おほゆきを踏てまいる程車はおちくぼにくるしうの
ふうなれ海たりけるうえうしともうけくはこうの
ちりふりくおそろしくおちられのそたうまうある程
りふくるなとおもひきこまの大内のもとにあ
引きうえおしがくしてもくこ面おとともまひさうれ
をとにくみのうえに題を学こにこおこそ仏乃
ふ面なとにきおるみのやうにたかゆ内おへぬまを
のかれやうにたかゆ内おへぬまをそのの綿はあけ
そりにみをやとおほくをうけわさしなへきんなと
引きうえおしがくしてもくこ面おとともまひさうれ
よせうまえこ八題をうえうと今すあ
紫たうかとくくわうとうと乃竹山、
大納云面いせりのくくよあまく法下うき孫に、
乃ちりいとあのをおをけてそや
古の跡ぼくろひおへたるうきおうこうきおの中うく
みくみおうう感まうう感おうこうきおの中うく
うの感おへなうくうのふ心やおあそ
て立えりからうーけかーなとれぬ連をまりおうーて、なも
世のなとに見出てかくーてお話をを文のおほ世

フクメニ
○ここのひらのあの
ちもとをひらん
まうそうする
こうそうれる
ゆきのうえ

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

ならるまでいきさぶお思ひくる毎ごとて、ひなおろして、
ねくまるおさまさまのこうせのひまくむと思ふくうまで
年、糸りまてそ、ばー先とりけるの人をの掛ぬんこ忽
なよそーお、八人のうりぬおそのうり、一尺よ二尺りの乃
まさのあけしれうへみおりーまでらくまくそうく
志そぬくまをよりとゆ外へくいほうとそ、まてのこ
このさにやうせ給ふまうさうはそもをりなうう
おりーまでそいうそ、紅ばそうよ！おくんや中に
りうりぬやれ柳乃形おえひ深れ又主れ形理をお赤色乃
うれ店を球をりれ唐乃うをおみほうんきお
まうぬおとまわてうりとり狗乃いろほうにへくのに
お風へまお掛なー、我をいいのくるとくみと作ばほいうう
年んれ作うなとも珠におくそよのつよそ又ーうや
をぬそもそ面乃大まの院乃形供みきそ、人おんこぬ
形同しを下を掛なうう、文れ店とまおみあうんまわし
人思なんとて珠にを下をおそうせ給うをおいやをきを外へまてておわ
をわいやをきれうみをれうう和を今かけ
ひうさ計あけうせのへまうふうさのいーおうめのばく
めいうこうまりてちうを乃んこうせ形なを店へそ三尺
乃店本下ひとまろひを掛らものへくおあさ乃ろて
ま志ーて、そう一海おをまくみ一ひうと、前の掛おを
まをにをちくなり、れ上にちきて中納云れ君こ天を、風
の形作られ右兵衛のりこ、あくきよとやこうふ、ば
むすめ、掌おめをとをとれ小海れ右大臣れ孫そ
連山うこまそ上にねくりんこ外形殺しぬそうあう

太納言殿かうりむきの外へ御
あらんとのたまふ、一まとりて御
や、僧都の君赤色のうちの御
ふらつきの
のあとくらけうら
着き、御そぎ捨てられ、僧綱の中に、威
勇まし一ものたまふ女房の中み
後見よりてきおりまさて、日
なとはらふ、父の大弁あんの御
えの濡れ縁おれふし、ふ乳母の
抱乃縁側なとき外人里例の
座敷に女そうれ中に入をふ
ゐるふるへいとくるしき事そ一まて
一切御をそれの着のありきふ
上達部上人地下六のなふく

たうゆく文約通ふうまひをこと日
くらふ門の使ふ使ふ伝言人
とて、ふうも糸らん文な成き
ロそうたく
成就のそうらう
やそよろうう
ありそうら
ふ
ふ成ふ人の弁糸望て、面ふを
作ふまくとていふ物外なとを
のふうの女なとやうれ御
そて、ふひうなとをめて
ら發給上を部なとにふいう
々ふ、文ふ用へへ世給ふるをふ
へ二条北文ふそありー海う
ねくまてにくくんを思給ふ
ふのおりてきさらんとそ、そらふみふ
ふ
ふ

うるときぬハ、

かう深く落る白きよく〳〵の赤色、松の緑色、ちる楓葉、柳、又のふちふさおとこをなをされきぬと、

ひとへハ、

白ぬひのうそくのおくのひとへあこめとそしてめにそこ地さへ見えそうなひとへなきぬこふをかさねつゝ秋の色〳〵折り色れ袖ひとへハうすくてそ男も女も着るころきりのを

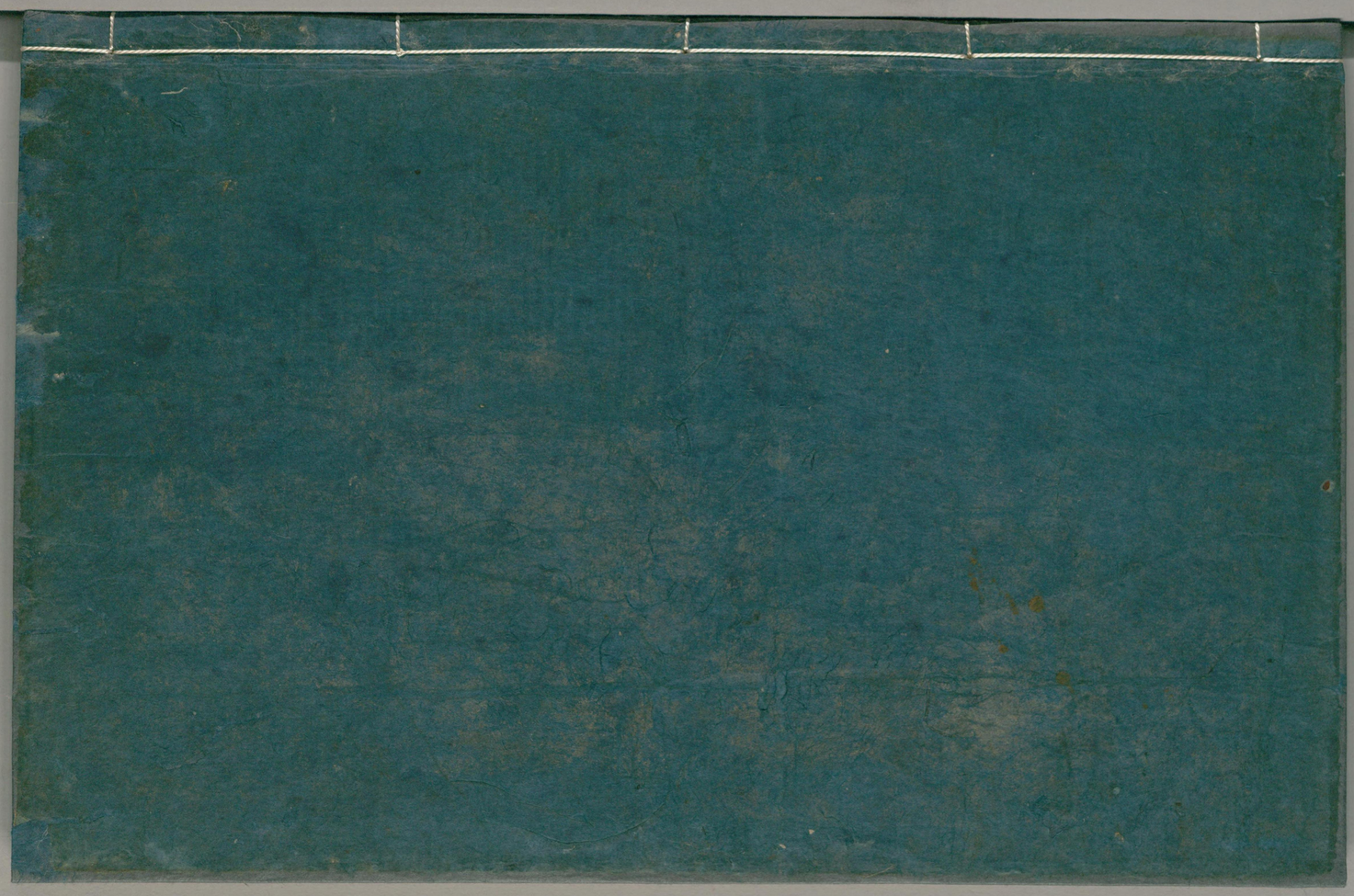
朝のあをーを潜りひそこそあまたくをあてゝゆもいやしくの底をめくりの袖をいかう思ふ人美れ事ふをくまてを要をあるうへ袴をと結ひきと思ひ着ものなうむ指人をふうしさく

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84
ガラス使用

旧請求記号
831-16

阿波國文庫

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』　請求記号 WA7-84

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[枕草子] 5巻』 請求記号 WA7-84
ガラス使用